



山小通信



山崎小
ホームページ

「読解力の低下」と向き合うために

校長 廣居 克彦

近年、全国的に「読解力の低下」が話題となっており、新聞や書籍でも取り上げられ、教育現場でも深刻な課題として認識されています。石井光太氏の著書で『「こんぎつね」が読めない小学生のことが紹介されました。』『「こんぎつね」と言えば新美南吉の有名な「物語」で、大人から子どもまで誰もが知っている物語です。あらすじを紹介すると①いたずら好きの「こん」(ぎつね)が、村人



兵十の獲った魚を逃がす。

②ある日、兵十の家で母親の葬儀が行われていた。こんが

逃がした魚は、兵十が病気の母親に食べさせるものだ。こんは、毎日探った木の実や食べ物を兵十の家に届けるが、兵十は知らずにこんを銃で撃つ。④だがそれが「こん」の行方だと知り、兵十はその場に立ちすくむ。⑤という内容ですが、②の場面に『よそ行きの着物を着て、こしに手ぬぐいを下げたりした女たちが、表のかまどで火をたいています。大きななかの中では、何かぐずぐずにえています。』という描写があります。ある小学校の国語の授業で、この一節を読んだ児童たちが「死体を煮て消毒している」「骨にして埋めるために煮ている」といった解釈を真剣に話し合っていたというのです。この場面は、葬儀に来た人の食事の準備として女性たちが料理をしている描写なのですが、児童たちはそれを「死体処理」と誤解していたと紹介されており、衝撃を受けました。

本校でも、国語の授業や読書活動を通じて読解力の育成に力を入れています。実際の授業では「文章の表面的な意味は読めても、登場人物の気持ちや背景を読み取るのが難しい」と感じる児童が増えてい

うに思います。例えば、物語文の中で主人公が悲しんでいる場面でも、「なぜ悲しいのか」がわからず、ただ「悲しい」と書いてあるから悲しい」と答えるケースがあります。これは、文章の奥にある感情や状況を想像する力が十分に育っていないことを示しています。



読解力の低下には、いくつかの要因が考えられます。まず、日常生活の中で言葉に触れる機会が減っていることです。スマートフォンやタブレットの普及により、短く簡単な情報に触れることが多くなり、長い文章をじっくり読む習慣が薄れてきています。また、家庭内での会話も減少していると言われており、言葉を使って考えを伝え合う経験が不足しているのではないのでしょうか。さらに、読解力は「語彙力」「背景知識」「想像力」など、複数の力が組み合わさって育まれるものです。そのため、教科書の文章だけでなく、日常の体験や読書、友だちとの会話など、さまざまな場面で言葉に触れることが大切だと考えています。そこで、本校では、読解力を育てるために、次のような取り組みを進めています。

①「読書タイム」の充実 ②教科を横断した言語活動の推進 ③家庭読書の定着

保護者のみなさまには、ぜひご家庭でも「読む」「話す」「聞く」機会を意識的に増やしていただければと思います。たとえば、「音読の宿題」があれば、主人公のことや出来事について質問をしたり、夕食時に今日の出来事を話し合ったり、いっしょに本や新聞を読んで感想を言い合ったりするだけでも、子どもたちの言語力は大きく育ちます。また、料理、買い物、季節行事などの体験をとおして言葉と現実を結びつけることも大切だと思っています。

読解力は一朝一夕で身につくものではありません。しかし、日々の積み重ねによって、確実に育っていく力です。子どもたち

が自分の考えを言葉で表現し、他者の思いを理解できるようにするためにも、学校と家庭が協力して読書活動に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



情報教育の深化

「使える」から「活かせる」へ

ICT担当 藤井 恵太

情報機器が生活の一部となった今、子どもたちは日々、膨大な情報に触れています。本校では「情報を活かす力の育成」をテーマに、操作スキルの習得にとどまらず、情報を「選び」「考え」「伝える」力を育む教育に取り組んでいます。

○探究的な学びと情報活用

授業では、調べ学習やプレゼン活動を通して、情報の信頼性を見極め、自分の考えを整理して発信する力を育てています。AIや検索ツールで得た情報を鵜呑みにせず、自分の言葉でまとめる姿も見られるようになりました。高学年では、複数の情報源を比較し、根拠をもって意見を述べる力が育っています。

○ICTを活用した創造的な活動

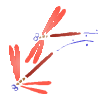
情報端末は、調べるだけでなく「表現する」ためのツールでもあります。今年度は、GoogleスライドやPower Pointを使って、

9月の行事予定



- 17日(火) 集金日
スーパーマーケット見学(3年)
- 18日(木) 読み聞かせ
- 19日(金) 修学旅行(～20日)(6年)
- 22日(月) 振り替え休業日(6年)
山崎高校教育類型授業見学
- 23日(火) 秋分の日
- 25日(木) 読み聞かせ
- 27日(土) 1年生学年ふれあい
- 29日(月) 自然学校(～10/3)(5年)

10月の行事予定



- 2日(木) 読み聞かせ
- 6日(月) 教育実習開始
- 9日(木) 読み聞かせ
- 10日(金) しそう森林の探検隊(4年)
- 13日(月) スポーツの日
- 15日(水) 校報発行
- 16日(木) オープンスクール①
- 17日(金) オープンスクール②
租税教室(6年)
- 22日(水) 集金日
- 23日(木) 読み聞かせ
- 29日(水) ささの子発表会リハーサル



オープンスクールお知らせ

- 【開催日】
10月16日(木)
10月17日(金)
- 【公開授業】
2校時 9:25～10:10
3校時 10:30～11:15
5校時 13:40～14:25

1階コモンスペースにて150周年ミニ写真展を開催します。懐かしい写真をご覧ください。来校をお待ちしています。

伝えたいことを自分たちで考え、スライドにまとめて発表する活動に取り組んでいます。画像・音声・文字を組み合わせて伝える経験を通して、表現力と構成力が育まれています。

○家庭との連携を大切に
情報機器の使い方は、学校だけで完結するものではありません。ご家庭でのルール設定や声かけが、子どもたちの意識を大きく左右します。今年度は、保護者向け講座や、家庭でのルールづくりを支援する資料の配布も予定しています。学校と家庭が連携し、健全な情報活用を支えていきます。

○これからの展望
今後は、地域との協働による情報活用プロジェクトや、教科横断的な学び(例…社会科×情報、国語×情報)にも取り組む予定です。子どもたちが「情報を使って何ができるか」を実感できるよう、実践的な学びの場を広げていきます。